

みささ



左から 松田 隆 会長、寄付講座教授 芦田 耕三先生、森尾 泰夫 院長

病院理念 安全、安心で良質な医療を提供し、常に地域から信頼される病院

Topics

■ 糖尿病看護認定看護師他

4

■ 岡山大学寄付講座

2

■ 平成28年看護部長新年ご挨拶

1

平成28年 看護部長 新年ご挨拶

三朝温泉病院 看護部長 坂根 裕子



平成28年の新春を迎えるにあたり、皆様に新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、三朝温泉病院の運営にあたり、医師会の先生方をはじめ、地域の皆様には日頃のご協力、ご支援に感謝申し上げます。昨年、4月より大月看護部長の退職に伴い、看護部長の任を受け看護部が新たにスタートしました。看護部では、「看護は、人である」をモットーに患者中心の看護を提供し、患者様の期待に応え、寄り添える看護を提供したいと願い、実践できる人づくりを仲間と共に築きあげてまいりました。新体制を引き継ぎ、看護部理念である「一人ひとりを大切にして誠意を持って患者中心の看護を提供します」を目標に看護部一同、より質の高い看護を目指して、更なる努力を重ねてまいりたいと思います。

超高齢化時代に向かいつつある今、入院され治療、療養、リハビリテーションを受けられ、病院から在宅へ進めていく中、患者様に安心して退院を迎えていただくためには、看護師のかかわりは重要です。当院では、看護師をはじめリハビリスタッフ、ソーシャルワーカーと共にチームで退院支援をサポートいたします。また、昨年から開設しました訪問看護リハビリステーションみささでは、在宅でも安心して過ごしていただけるようお手伝いいたします。

1月から三朝医療センターの医療を当院で引き継ぐこととなり、今後も地域の皆様に安心して利用していただける病院を目指してまいりたいと思います。皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。





岡山大学 寄付講座開設

平成28年1月1日より

三朝医療センター機能維持のために ——

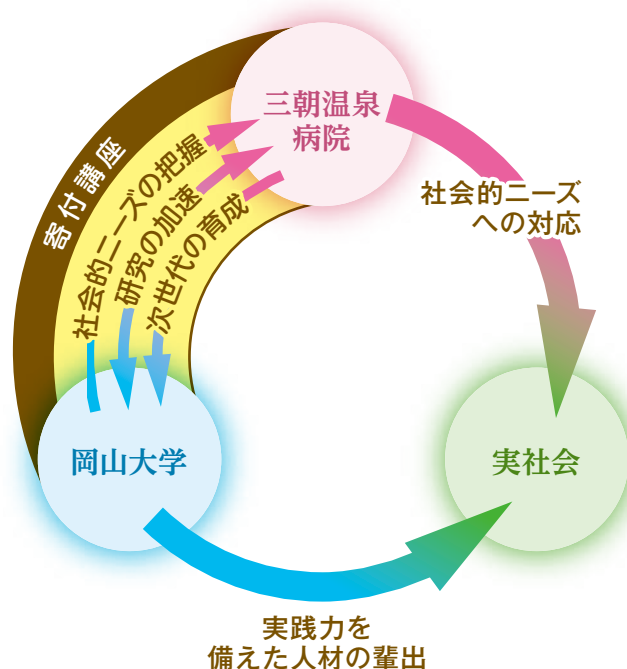
三朝温泉病院に隣接し、ともに歴史を歩んできた岡山大学三朝医療センターが、大学の組織運営の見直しにより廃止されることになりました。これに伴い、鳥取県中部医師会は岡山大学と三朝地域医療支援寄付講座設置の契約を行いました。寄付講座とは、民間企業や行政組織などが教育研究の振興、発展のための資金を大学へ寄付し、大学がそれらを活用し研究活動を行うことです。教育機関との密な連携により、次世代の人材育成、研究の加速、社会的ニーズの把握など双方や地域医療の発展に役立てることができます。

もりお やすお
病院長 森尾 泰夫

整形外科医。1980年鳥取大学医学部卒業、84年同大学院医学研究科博士課程修了。同医学部附属病院及び国立三朝温泉病院勤務などを経て、92年には米国ハーバード大学へ留学(マサチューセッツ総合病院整形外科リサーチフェロー)。2003年鳥取県中部医師会立三朝温泉病院病院長心得、04年より現職。



▼ 寄付講座の仕組み



MISASA ONSEN HOSPITAL

三朝のツインホスピタルとして

平成27年12月末をもって岡山大学三朝医療センターは閉院されることになりました。これまで三朝町には岡山大学三朝医療センターと鳥取県中部医師会立三朝温泉病院の2つの病院がありました。それぞれ役割と機能は異なりますが、それぞれが相互に補完しあって鳥取県中部医療圏の医療を担ってきました。

三朝医療センターは昭和14年7月28日に岡山医科大学が温泉研究を目的に岡山医科大学三朝温泉療養所として開設しました。昭和18年には岡山医科大学放射能泉研究所となり、昭和24年には岡山大学医学部附属三朝分院として診療活動が引き継がれ、平成14年4月には三朝医療センターとなりました。

一方、三朝温泉病院は昭和14年12月14日軍事保護院傷痍軍人三朝温泉療養所として開設され、戦後は国立三朝温泉療養所として運営されました。昭和42年には国立三朝温泉病院となり、平成12年3月に国から鳥取県中部医師会に移譲され現在に至っています。同じ年にはじまった両者は隣接したツインホスピタルとして仲良く医療を行って来たのです。

三朝医療センターの廃止

この度、岡山大学の組織運営の見直しにより三朝医療センターが廃止されることになりました。平成23年12月には三朝医療センターの将来構想に関する委員会の提言が出されました。これをもとに平成24年4月より三朝医療センターの入院機能は休止され、外来診療のみを継続してられました。



これからも、地域のために

三朝医療センターは多くの患者さんが通院され、頼りにされていると伺っています。何とか、三朝医療センターの機能を当三朝温泉病院で担えないかと考えてきました。

この度、鳥取県中部医師会は岡山大学と三朝地域医療支援寄付講座設置の契約を行いました。これにより平成28年1月より3年間にわたり医師3人を三朝温泉病院へ派遣していただくことになります。三朝温泉病院にて温泉資源を活用した地域医療の継続、鳥取県中部地域における地域医療ネットワークの構築に関する研究、高齢者医療を担う医師等の教育・養成および研修プログラムの開発などが行われます。温泉医療としては鉱泥湿布療法を引き継ぎます。温泉プールでの運動浴はこれまで通りに温泉病院でもなされます。バックグラウンドの異なる病院が合体したことになりますが、これによりさらに良質な地域医療が行われていくと確信しています。

三朝医療センターから芦田耕三先生が寄付講座教授として赴任されます。また、三朝医療センター長の光延文裕教授には非常勤医師として診療に当たっていただく予定です。また、半年ごとですが岡山大学医学部附属病院の助教の先生に診療をしていただきます。



▲ 三朝医療センターから寄付講座教授として赴任される、芦田耕三先生。

寄付講座の先生方を迎え、三朝温泉病院は本年も地域の皆様のため安全安心の医療を提供できるよう努めて参ります。平成28年が皆様にとって良い年となりますよう祈念致します。

患者さんの笑顔のために、 共に考え、支えています。

糖尿病看護認定看護師
森 倫子

糖尿病と上手く付き合い、自分らしい日々を送っていただくために ——

糖尿病は慢性疾患で自覚症状に乏しく、気が付いた時には神経・眼・腎臓・脳など全身に大きな合併症を引き起こしていることがあります。しかし、糖尿病と上手に付き合うことによって、健康な人と変わらない生活を営み、人生を全うすることが可能な疾患でもあります。“上手く付き合っていく”ためには、慣れ親しんだ生活習慣の変更が必要な場合も少なくありません。そのような患者さんやご家族に対し、糖尿病をもつ人を「患者」としてではなく、「社会や家族の一員として生活している人」ととらえ、生涯にわたり糖尿病と上手く付き合いながらその人らしく生活していくことを支援したく、今年度糖尿病看護認定看護師になりました。

糖尿病は生涯にわたり食事療法、運動療法、場合により薬物療法などの自己管理が必要となります。糖尿病に対する知識や、インスリン注射や血糖測定等などの技術面、またその中で生じる様々な思いに寄り添いその人らしく健やかな生活を送っていただけるよう、糖尿病治療と関わるスタッフと連携を取りながら、共に日々活動していきたいと思えます。

現在、日本の糖尿病と糖尿病予備群の合計は2050万人で、国民の5人に1人が糖尿病または糖尿病予備群と言われています。今や“国民病”と言っても過言ではなく今後も増加し続けると予想されています。まずは予防から、三朝温泉病院では、足を守るフットケアや糖尿病療養指導委員会を中心に地域に密着した糖尿病予防教室も行なっています。毎日の生活を健康的に自分らしく過ごせるよう一緒に頑張っていきましょう。



病院ボランティア ほっとスマイル 10周年記念 感謝の会



感謝の気持ちを込めて ——

総務課主任 伊田みどり

平成17年10月1日より活動を始めたボランティア活動が10周年を迎え、長年の活動への感謝の気持ちを込めて感謝の会を開催しました。当日は会食をしながら、10年を振り返る懐かしい画像を見て思い出話に花を咲かせ、お楽しみ抽選会をして楽しい時間を過ごしました。また、2名の方の活動時間が1,500時間達成となり、事務部長より表彰状が贈られました。最後にボランティアのみなさまから一言ずつお言葉をいただき胸が熱くなり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。この10年間、様々な場面でご協力いただき本当にありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いします。



病院スタッフ考案！
オススメ健康レシピ♪

健康美食

vol. 7



低カロリーでヘルシー！麻婆大根

一食分 150kcal

※一般的な麻婆豆腐は
300kcal程度

鶏や合挽き肉でもいいよ！
でも、やっぱり私は豚が好き！



MEMO 大根の栄養について

大根の葉はビタミンA、根の部分はビタミンCが含まれ、食物繊維も豊富です。でんぶんの消化酵素であるジアスターゼやグリシターゼが含まれているため、食物の消化を助けるとともに、腸の働きを整える効果があります。ジアスターゼには焼き魚の焦げた部分に含まれる発ガン物質の解消や解毒作用があり、付け合せの大根おろしなど理にかなった食べ方です。「おろし」「煮る」「漬ける」など調理方法は多種多様です。冬場の寒さで甘みが増し、冬のメニューにかかせない食材ですね。

作り方

1. 大根を1～1.5cm角に切り、レンジで4～5分加熱。
2. フライパンにごま油を適量入れ、にんにく・生姜を炒め色が変わったらひき肉を入れ炒める。
3. ②に豆板醤・味噌・中華の素を入れ軽く混ぜ合わせる。
4. ③に水・酒を入れひと煮立ちしたら、①の大根を入れ5分程度煮る。
5. 水溶き片栗粉を準備し、大根が柔らかくなったら片栗粉を回し入れ、最後にネギを散らしお皿に盛り付けたら出来上がり！！

材 料 (4人分)

大根※1 15cm～20cm
豚ひき肉 150g
にんにく(チューブ可) 2～3粒
生姜(チューブ可) 1～2片
水 1カップ
酒 大さじ1
ごま油 適量
豆板醤※2 小さじ1～2
味噌 大さじ1
中華の素 小さじ1
水溶き片栗粉 適量
仕上げ用ネギ(小口切り) ... 適量

※1 今回は麻婆大根ですが、豆腐・ナスなどどんな野菜でも同様に美味しくいただけます。

※2 豆板醤は味見をし、好みで増減してください。

外来診察案内

受付時間 午前8:30～11:00

外来予約専用TEL

0858-43-2476 [受付 平日12:00～17:00]

診療科名		月	火	水	木	金
内科	一診	竹田	塩	竹田	松田／荻野(午後：月2回)	塩
	二診	松田	光延	石飛	野口(第1・3・5は午前のみ)	金藤
	三診	芦田	金藤／芦田	芦田	竹田(ドック診療)／芦田	光延
	神経内科診察室	—	辻本	—	—	—
神経内科	一診	—	—	—	瀧川 ^{洋史} (隔週午後)※注	瀧川 ^{みき} ※注
整形外科・ リウマチ科	一診	院長	加藤	院長	石井	深田
	二診	石井	深田	加藤	吉田	リウマチ外来
	三診	福嶋	—	福嶋	—	—
リハビリテーション科		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

※注 神経内科に初診をご希望の方は、事前に神経内科へお問い合わせください。代表番号(0858-43-1321)

平成28年1月1日～

学会発表／講演／誌上発表 平成27年7月～平成27年12月

学会発表

演 題	学 会 名	年 月 日	開 催 地	演 者
当院の一般撮影領域における撮影法の紹介	鳥取県中部地区研修会	7月24日	倉吉市	山下俊能
頸部・肩・上肢の痛み、上肢にしびれがある患者への症状緩和 —手浴とハンドマッサージ・シャボンラッピング浴との比較検証—	第46回日本看護学会慢性期看護学術集会	9月2日	郡山市	神宮詩歩・山根裕美・ 梶村明子・本庄つゆ子
回復期リハビリテーション病棟看護師が抱く退院調整が困難 と感じる要因 —インタビュー調査より得られたこと—	第46回日本看護学会 慢性期看護学術集会	9月3日	郡山市	山名加恵・浅井京子
抗結核剤で治療した膝関節炎の一例	第33回 山陰膝関節研究会	9月5日	米子市	深田悟・加藤芳弘・吉田匡希・ 石井博之・森尾泰夫
矢状面姿勢の違いとロコモティブシンドロームの関係性について	第29回中国ブロック理学療法士学会	9月5、6日	出雲市	森田鉄二
変則勤務導入による日勤業務と患者との関わり意識変化	第46回日本看護学会 看護管理学術集会	9月8日	福岡市	森智奈美・景山優美
当院における糖尿病予防教室での活動成果と課題	第12回日本医療マネジメント学会 鳥取支部学術集会	9月12日	米子市	山口洋司
Flex coilにおけるCoil間干渉の検討	鳥取県東部MRI研究会	10月1日	鳥取市	中山英俊・中松裕輔
筋肉血腫の症例報告とその撮影法	鳥取県東部読影勉強会	10月15日	鳥取市	中山英俊 山下俊能
骨粗鬆症性椎体偽関節に対する棘突起プレートの使用経験	第48回 中国四国整形外科学会	10月17日	米子市	深田悟・森尾泰夫・石井博之・ 加藤芳弘・吉田匡希
ノルディックウォークが足部機能及びバランス能力に与える影響 —シングルケーススタディによる2例の検討—	第4回日本ノルディックウォーク学会 学術集会大会	10月24日	札幌市	富澤隆一郎
ラドン泉手浴での皮膚変化の検証	第46回日本看護学会 ヘルスプロモーション学術学会	11月6日	富山市	藤村尚士
クライミング愛好家におけるスポーツ傷害の実態調査	第26回臨床スポーツ医学会学術集会	11月7、8日	神戸市	富澤隆一郎
家庭内での役割・居場所の獲得に繋がった事例 ～「料理がしたい」真の意味とは～	第12回鳥取県作業療法学会	11月8日	倉吉市	中村貴紀
本人の主体性を引き出しつつチームアプローチをマネジメント したことで独居生活を継続する事ができた事例	第12回鳥取県作業療法学会	11月8日	倉吉市	松本周三
高齢者における立位姿勢アライメントの違いによる歩行規則性 の特徴について —鳥取県西部地区におけるGAWA STUDY—	第42回日本臨床バイオメカニクス学会	11月13、14日	千代田区	森田鉄二
骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する Balloon Kypho plasty の治療経験	第84回 西日本脊椎研究会	11月21日	福岡市	吉田匡希・加藤芳弘・深田悟・ 石井博之・森尾泰夫
ステロイド長期服用患者における骨粗鬆症薬使用状況調査 ～院内プロトコル作成へ向けて～	第20回鳥取県医療薬学セミナー	12月6日	米子市	森内葉子
MRI Flex coil配置における適正なcoil間距離の検討	鳥取県診療放射線技師学術大会	12月12日	倉吉市	中山英俊・山下俊能・津川大樹・ 島本勇・中松裕輔

講 演

演 題	講 演 会 名	講 演 日	講 演 場 所	講 演 者
転倒予防	三朝町社協主催あったかよりあい事業	6月2日～8月18日	三朝町吉田部落公民館	別所大樹
退院後すぐに悪化する高齢女性2型糖尿病患者	第39回鳥取県糖尿病談話会	7月18日	倉吉市	竹田晴彦
今からでも大丈夫！産後ケアのための準備	三朝町ウェルカムBabyクラス	7月22日、11月11日	三朝町子育て支援センター	大丸利沙
認知症予防のながら運動のススメ	認知症予防教室	7月25日、9月26日	灘手公民館	馬壁知之
「生涯学習と理学療法の専門領域」 「コーチングとティーチング」	鳥取県理学療法士会新人教育プログラム	8月2日	まなびタウン東伯	馬壁知之
高齢者の特徴と有効な運動方法	みどり園職員研修	8月4日	みどり園	山根隆治
「いきいき・たのしく・げんきな身体」	北栄町公民館シニアクラブ	8月17日	北栄町中央公民館	山根隆治
意外と知らない体幹トレーニングの重要性	明倫地区健康講演会	9月10日	明倫地区公民館	山根隆治
チーム医療 守ろう安全 築こう信頼 ～患者中心の糖尿病医療を目指して「チームで守る」～	DM Care Challenge	9月12日	倉吉未来中心	政門玲子
頑固で高度な下肢浮腫が消失した緩徐1型糖尿病	Diabetes Conference in Tottori	9月12日	鳥取市	竹田晴彦
介護予防～元氣な足腰いつまでも～	生涯学習教室「三朝教室」	9月15日	三朝町総合文化ホール	山根隆治
介護予防～今聞いてみよう・やってみよう 運動編～	東中学校区女性部会健康教室	10月3日	上灘公民館	馬壁知之
糖尿病予防教室での活動成果	第22回鳥取県東中部糖尿病セミナー	10月3日	とりぎん文化会館	山口洋司
ロコモチェックとロコモ体操	鳥取県中部健康セミナー 2015 「骨と関節の日」イベント	10月4日	倉吉未来中心	馬壁知之
～あなたのクセを知って脱！生活習慣病～	糖尿病予防学習会	10月7日	三朝町総合文化ホール	政門玲子
転倒予防教室	三朝町社協主催あったかよりあい事業	10月8日～12月24日	三朝町穴鴨公民館	河本翔馬・岩本祐輝
ころばん体と健康な足づくり	小鴨明倫シニアクラブ	10月9日	小鴨地区公民館	別所大樹
介護保険・訪問看護について 転倒予防体操	こぶしの会健康教室	10月13日	湯梨浜町 アロハホール	岩山恵理子・中井孝志
腰痛対策	腰痛予防職員研修	10月16日	北栄町社協	山根隆治
腰痛診断のピットフォール	第128回鳥取県東部整形外科症例検討会 学術講演会(日本整形外科学会教育研修会)	10月23日	鳥取市	森尾泰夫
「糖尿病あれこれ」	三朝町大昭老人クラブ交流会	11月9日	三朝町福祉センター	政門玲子
腰痛対策	腰痛予防職員研修	11月11日	みどり園	山根隆治
夜勤・交代制勤務改善のとりくみ	平成27年度看護師職能研修会 「ワーク・ライフ・バランス基礎講座」	11月13日	鳥取県看護協会	本庄つゆ子
臨床実習でのATDLP (生活行為向上マネジメント)の活用報告	YMCA米子医療福祉専門学校 作業療法士科臨床実習指導者会議	11月14日	YMCA米子医療福祉 専門学校	松本周三
持続する強度の下肢浮腫に対する五苓散の効果	中部地区漢方勉強会	11月18日	倉吉市	竹田晴彦
生活習慣病予防と運動について	北栄町運動体験教室	11月18日	北栄体育館	山口洋司
ミニ講座 骨粗鬆症について	穴鴨区あったか寄合元氣事業	11月19日	穴鴨公民館	吉川朋子
生活習慣病予防と運動について	北栄町運動体験教室	12月3日	大誠体育館	山口洋司
糖尿病になってしまった。さあ、どう養生するか。	住民向け糖尿病予防講演会	12月12日	倉吉市	竹田晴彦
糖尿病を予防する食生活をしてみませんか	住民向け糖尿病予防講演会	12月12日	倉吉未来中心	亀井由美子

誌上発表

掲 載 紙	表 題	著 者
骨・関節・軟骨治療のための新製品開発と臨床ニーズ～治療薬、診断薬、診断装置、健康食品～	腰部脊柱管狭窄症	森尾泰夫

病院のご案内

名 称	(公社)鳥取県中部医師会立 三朝温泉病院	開設者	鳥取県中部医師会 会長 松田 隆
住 所	〒682-0197 鳥取県東伯郡三朝町山田690 TEL：0858-43-1321 FAX：0858-43-2732 E-mail：ishikai@hosp.misasa.tottori.jp URL：http://www.hosp.misasa.tottori.jp/	病院長	森尾 泰夫
外来受付	午前8:30～午前11:00	診療科目	整形外科・リウマチ科・内科・神経内科・リハビリテーション科
		病床数	178床 一般病棟…83床(内、地域包括ケア病床14床) 療養病棟…35床 回復期リハビリテーション病棟…60床